東京四極だより

【書：篠田直雄 東京四極会初代理事長・昭和3年卒 高商4回】

http://www.tokyoshiwasukai.jp/

発行責任者　奥川隆生
編集責任者　奥川隆生
発行所　東京四極会
〒210-0812
川崎市川崎区東門前3丁目11-14
丸伊ビル1階 カワカ産業株式会社内
E-mail：info@tokyoshiwasukai.jp

平成三十一年
東京四極会　新年会開催！

・諸課題解決の加速を約す
・経済学部創立百周年の成功をめざす募金活動が始動

2月2日（土）12時から、新日鐵代々木倶楽部で46名の参加を得て恒例の東京四極会新年会を開催した。地元大分からは四極会会長石川公一氏、百周年記念事業実行委員長・野々下俊昭氏、大分大学副学長・下田憲雄氏を来賓としてお迎えした。

司会は鶴田幾雄事務局長（第50回）が担当。

まず、奥川隆生理事長（第50回）が挨拶にたった。

奥川理事長

「新年会にお集まりいただき感謝します。この会の先々週一週間、仕事で中国の寒い地域を回ってきました。今回も多くの中国の旧友、親友と旧正月前の会合をもちました。米中の貿易摩擦の影響が民間人の生活レベルまで多少なりとも及んでいるかと思いますが、一人一人の顔つきには依然明るいものがあります。彼らには今日より明日、今年より来年はよくなるという強い思いがいつも根底にあると思います。我々も将来が分からないと決め込む前に社会をよくしていこうとするポジティブな心意気をまず新年にもつことから始めたいものです。東京四極会の抱える課題へのアクションはこれから執行部で整理して次の6月の理事会・総会で予算案として皆さんお示ししたいと思います」

石川四極会会長

ご来賓挨拶

「本部の動きを三点披露します。まずもって2022年の経済学部創立百周年周年の記念行事を何としても成功させたく引き続き東京四極会の会員みなさんのご協力とご理解をお願いします。また、四極会本部と各支部との距離をより縮めていくためにこの4月から本部のホームページ（HP）の全面リニューアルを行います。この中で全国の会員へのサービスの一律化として、会報「四極」のデジタル掲載と名簿管理をHPで運営することにします。最後に、本年7月に予定されている参議院議員通常選挙では本学出身の衛藤晟一議員の改選時期にあたっており四極会としても可能な限りのバックアップを行いたく皆様のご支援をいただきたいと思います」

野々下百周年記念事業実行委員長

「昨年7月の全国評議会、支部長会議で承認をいただいて創立百周年記念行事の基本的な実行計画がスタートしました。募金計画の進捗については、東京四極会はこの5ヶ月間で目標1099万円に対して約16％といいスタートをきっていただいています。日頃、積極的に関東地区の組織課題に取り組んでおられ、また全国支部長会議の議長組織である東京四極会

今後の予定

◆2019年理事会・総会予定
6月1日(土)
新日鐵代々木倶楽部

◆2019年若手会員の集い
8月5日(月)場所未定

◆2020年新年会
2月1日(土)
新日鐵代々木倶楽部

◆たまには歩こう会
年　数回

◆東京四極囲碁会
年　数回

◆春の懇親ゴルフ
4月大宮ゴルフコース（予定）

◆秋の懇親ゴルフ
9月習志野カントリークラブ（予定）

・・・

※お問い合わせは、ハガキで東京四極会事務所または、東京四極会ホームページ問い合わせ欄でお願いします！

東京四極会ホームページもご覧ください

東京四極会HPは会報だけではカバーできない会員皆さまからの寄稿文、歩こう会の記録、過去の会報バックナンバー、総会や新年会のご来賓の挨拶などを掲載しています。また、HPからも事務局問い合わせや入会・会員登録変更の連絡ができます。

東京四極　検索

と大分支部が両輪となって動くことに今後の記念行事やこれを支える募金活動の成否がかかっています。引き続きご協力をお願いします」

下田副学長

「大学は2017年に工学部が理工学部となり、経済学部においても同年に社会イノベーション学科を設置し、東京四極会でも会合に出ておられた渡邊博子教授が活躍をされています。大学の来年度の予算はほぼ今年度並みを確保しましたが、次年度以降の運営交付金の状況は他の国立大学との競争において厳しくなる見込みです。百周年記念行事においては四極会とタッグを組み、学術での貢献、学生への寄附講座などに加え、ハード面では教室の改修などについて寄付を含めて知恵を絞った対応を考えていきます。先日、学部と四極会との交流会で、四極会本部の皆様から、県内の子供たちが減少する中で今後大学をどうするのか、81の国立大学がこのまま存立するのかなどの問題提起をいただきました。100年を過ぎたあとの大学をどう活かしていくのかが大きな課題です」

その後、下村晃事務局次長（第49回）による口上で乾杯し新年会に移った。

宴の半ばで囲碁会幹事の松岡幸秀氏（第52回）、田中典明氏（第48回）、たまには歩こう会幹事の田中典明氏が恒例の行事紹介を行った。

東京四極会の名指揮者、梅谷覚雄先輩（第38回）のリードによる校歌・寮歌斉唱ののち、大坪孝幸副理事長（第55回）による中締めでこれからの1年の会員の健康と次回の総会の盛会を祈って散会した。

参加会員（敬称略）

一万田道敏（第38回）、梅谷覚雄（同）、小迫邦彦（第39）、佐藤泰久（同）、大山博康（第40回）、友永英一（同）、葛城征志（第41回）、松浦靖弘（同）、栗林保幸（第44回）、高橋信行（同）、田川俊夫（同）、竹上英文（同）、溝辺憲治（同）、衛藤晟一（第45回）代理、國弘岳史秘書、田中典明（第48回）、百田秀実（同）、山下政春（同）、下村晃（第49回）、奥川隆生（第50回）、渋谷宝作（同）、土田謙二（同）、鶴田幾雄（同）、松岡幸秀（第52回）、石川公博（第53回）、後藤昌幸（同）、米井晃彦（第54回）、大坪孝幸（第55回）、河辺清美（第57回）、金馬弘明（同）、有働昭彦（第58回）、梅木俊宏（同）、土田百合雄（同）、小野桂一（第59回）、田尻清司（同）、小林伸彦（第60回）、加来公広（第61回）、小幡靖憲（第62回）、賀来良治（同）、早川恵弘（第67回平成4年）、千葉史（第68回平成5年）、丸尾克弘（第72回平成9年）、島崎宏道（第74回平成11年）、佐藤宏太（平成23年・工学部）、鷹尾和也（同・工学部）、菊川敬規（第75回平成12年）以上45名

東京四極会の役員紹介

昨年6月の総会でスタートした新体制の紹介をします。若手中堅会員の参加促進、ダイバーシティ対応、財政と活動の見直しなど課題は多いですが、現役組の行動力も生かして課題解決に努力します！

❶出身校、❷卒業年、❸ゼミ、❹ひと言（敬称略）

奥川　隆生・理事長

❶佐賀県立鳥栖高校
❷昭和55年卒
❸気賀沢ゼミ
❹この度、東京四極会の副理事長を努めることとなった大坪です。学生時代はワンダーフォーゲル部で北アルプスの縦走や西表島のジャングル横断などやっておりました。好物は焼肉で、若手対象の焼肉会なども開催したいと思っています。東京四極会は大学卒業以来、ずっと参加してきましたが、今後は奥川理事長の補佐として会の発展に尽力して参りますので、宜しくお願い致します。

大坪　孝幸・副理事長

❶追手門学院高校
❷昭和50年卒
❸和田ゼミ
❹就職面接で東京に出てきて大分大学の先輩たちが活躍しているのをみて安心して当時の三菱化成に入社を決めました。シニアから中堅、若手までの会員の皆さんが会社の枠を超え横連携の絆を意識できる同窓会活動をめざしたいと思います。

鶴田　幾雄・事務局長

❶鹿児島県立出水高校
❷昭和50年卒
❸和田ゼミ
❹この度、事務局長を拝命致しました。理事長の奥川さんとは和田ゼミの同期でお互い気心の知れた仲。微力ながら彼の女房役として四極会東京支部発展の為に尽力する所存ですのでよろしくお願い致します。

下村　晃・事務局次長

❶長崎県立長崎南高校
❷昭和49年卒
❸和田ゼミ
❹東京四極会の役員を拝命して10年が経ちました。うち事務関係のお世話をして4年になります。6月には完全にリタイアして終活の準備を始めたいと思います。自由な時間が増えますので東京四極会運営の裏方として尽力して行きたいと思います。

米井　晃彦・事務局次長

❶広島県立呉三津田高校
❷昭和54年卒
❸和田ゼミ
❹会計担当です。4年間軟式庭球部に所属していました。野球は広島カープ、同窓会は東京四極会をどうぞ宜しくお願いします。

石川　公博・理事

❶熊本県立鹿本高校
❷昭和53年卒
❸和田ゼミ
❹大学卒業後、川崎化成に入り、以来、41年勤務。晴れて来年には会社も卒業し、第二の人生を迎えます。社会とのつながりを模索するこの頃です。

西坂　憲郁・理事

❶熊本県立熊本高校
❷昭和56年卒
❸和田ゼミ
❹会社生活のほとんどを営業職として過ごしているなか、年とともに人とのつながりの大事さを一層感じています。これから東京四極会の皆様のつながりがより強くなるよう微力ながら尽力して参ります。

金馬　弘明・理事

❶大分県立大分上野丘高校
❷昭和57年卒
❸香村ゼミ
❹この度ご縁があり理事を拝命しました金馬と申します。同窓会員の皆様にとって魅力あるネットワーク作りに微力ながら貢献したいと思います。

梅木　俊宏・理事

❶宮崎県立宮崎大宮高校
❷昭和58年卒
❸和田ゼミ
❹新しい出会いに感謝します。東京四極会を盛り上げていきましょう。

田尻　清司・理事

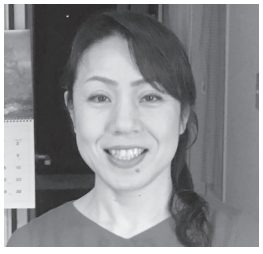
❶熊本県立濟々黌高校
❷昭和59年卒
❸和田ゼミ
❹大学時代は、ワンダーフォーゲル部に所属し、全国の名だたる山々を歩き回り自然の大切さと厳しさを体験致しました。卒業後は、出光興産（株）に入社。早、35年が経ちました。仕事を通じて、沢山の方々と出会い、そこから色々と人生の機微を体感してきました。私という人間の形成は、大分大学でのゼミや部活を通して形作られた核がその基盤としてあったと確信しています。今後は、東京四極会の役員の一人として、皆様とのふれあいをベースに更なる充実した人生を共に創っていければと考えています。

小林　伸彦・理事

❶大分県立大分上野丘高校
❷昭和60年卒
❸和田ゼミ
❹東京四極会は私にとって大切な場所です。様々な世代、様々な業種の方々と気兼ねない意見交換ができるのは同総会だけです。多くの先輩方と知り合い、酒を酌み交わし、語り合ったことは、私にとって大きな糧となりました。これまで同窓会に受けた御恩をお返しし、後輩たちに繋げていきたいと思っています。

西川　広子・理事

❶大分県立別府青山高校
❷昭和60年卒
❸斎藤ゼミ
❹米系外資で人事をしています。東京在住卒業生の皆さんと仕事や趣味（ゴルフ・ワイン）を通じて是非交流を深めたいと思っています。楽しみにしています！



千葉　史・理事

❶長崎県立諫早高校
❷平成5年卒
❸西村ゼミ
❹「行くとほっこり温かい気分になる」東京四極会の魅力を一人でも多くの方に伝えていけたらと、考えております。

（東京四極会の役員紹介）

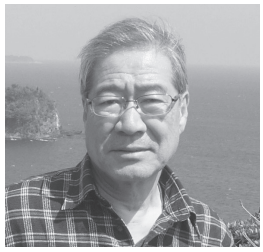
高橋　信行・相談役

❶大分県立大分舞鶴高校
❷昭和44年卒
❸斉藤ゼミ
❹副理事長を辞し今年度は相談役を拝命しました。新役員へのアドバイスとともにご高齢会員の皆様のご要望承り役を果たしたいと考えております。まだ元気ですので、何なりとお申し付けください。

西依　章郎・相談役

❶福岡県立明善高校
❷昭和46年卒
❸中村広治ゼミ
❹生活の40％が「外国人への日本語教育」。歌とギターが40％。下手なゴルフと麻雀が20％です。

田中　典明・監事



❶福岡県立福岡高校
❷昭和48年卒
❸古川ゼミ
❹63歳で退職後、囲碁のインストラクター、福祉作業所のボランティア、団地の管理組合の役員をやるなどして、わりと忙しく過ごしています。

松岡　幸秀・監事

❶大分県立宇佐高校
❷昭和52年卒
❸山本（雅）ゼミ
❹四極会に出てみたものの、知り合いが少なかったことから足が遠のいているという方もいらっしゃるのではないでしょうか。総会と新年会以外にも、様々な会がありますので、それらに出席して新たな知り合いを広げてはいかがでしょうか。私は囲碁の会と歩こう会で、多くの方と知り合うことができ、楽しませていただいています。

理事長通信

・・・これからの東京四極会活動を考える・・・

★具体策は次回総会に諮り実行へ

前項で今期からの役員を紹介しました。皆、張り切っています。現在、これからの東京四極会をどう運営していくかについては役員の中でいろいろ討議中ですが、概ね方向性は固まってきています。最終案は次回6月の総会で会員皆さんにお諮りしますが、以下、今考えていることを披露します。

★同窓会活動に多様性を

同窓会活動にはいろいろな思いがあっていいと思います。単なる同窓会。集まればたのしい。社外交流会。会社以外の人間関係を作る。多彩な人材に会える。卒業生、後輩を応援したい。女性会員を応援したい。学校、先輩への恩返し。何らかのプラス効果がある。それぞれの皆さんの思いを受け止める多様性ある同窓会を理想形として作り上げたいと思います。

★変わってきた同窓会活動の意味合い

ネット社会の進展により個々人あいだの連絡は容易になりましたが、一方で真の人間関係はむしろ希薄になっていると言われます。ここに同窓会活動の新しい役割が見えてきます。言い換えれば、同窓会活動にはこれまでの会員皆さんの「親睦」、「消息や近況の確認」のみならず「多様な思いに関わる」新しい価値観を求められていると思います。

★東京四極会の活動ビジョン

活動の見直しによる諸課題の解決と財政安定化の両立により、若手から中堅、シニア層までの参加会員それぞれの様々な思いをつなぐ場として機能する東京四極会の再構築をめざしていきたいと考えています。

★東京四極会の現状と対応方法

東京四極会の抱える課題として一部中堅、シニア層に偏った会員構成があります。若手会員の参加を増やしていくことは喫緊の実行すべき課題です。また、活動を支えていただく源泉の会費収入も年々減少傾向に歯止めがかかっていません。現状を嘆くだけでは活動ビジョンを実現することができません。会員増や会費のお願いをする上で、活動の魅力の幅を広げ、多様性には多様性をもって活動の見直しを大胆に実行し、その結果を真摯に皆さんにお知らせしてご支持を増やしていこうと考えています。

以下、具体的には、来年度を待たずして今年度からいくつかのイベントを試行します。これらの結果で実効あるものを来年度の活動案、予算案に反映していきます。

★学部を超えた「若手の会」を5月18日に開催

まず、若手、中堅層の会員増に向けた取り組みを試行します。幸い、昨年頃より、若手会員の中では、同窓の集まりを模索するメンバーが動き出しています。従来と異なり、相互の連絡に、メールやSNSをうまく活用する彼らの年代らしい手法で、大勢の同窓生との連絡をとれているようです。我々役員もこの動きをチャンスととらえ、後押ししていきます。ダイバーシティ（まずは女性、外国人）も意識し、出身学部を超えた若手の会を5月18日に開催します。若手会員の意識の把握、SNSの活用による本会活動の活性化の検討などを行い、今後の活動に活かしていきたいと思います。

★財政安定を目的に発送物総数の絞り込みを試行

財政の安定化については、当面、大きな増収が見込めない中にあっては、支出の削減を一段と徹底します。具体的には、集会のご案内、会報など配送物の総数の絞り込みを、次回の総会開催のお知らせより、ある条件を決めて試行します。

総数の絞り込みは、19年の総会時に当時の執行部提案で承認された事項ですが、実施と内容については別途決定するということで現在に至っています。配送総数の絞り込みをいよいよ実施することになる背景には次の2つの環境変化が影響しています。

①これまで配送コストの削減のため宅急便を活用してきましたが、郵便法および信書便法により、従来の発送方法がとれなくなりました。このまま発送総数を見直さなければ大幅なコストアップにつながることから、この2年間懸案だった総数の見直しは実行に移したいと思います。

②次の考え方は、会費の納入者と未納入者との公平性の観点です。ここまで財政が苦しくなると、なかなか活動に反映していただけない皆さんに貴重な財源が大きく流れていく状況は変えざるを得ません。ただし、これからも同窓という同じ仲間の関係は変わりません。HPの活用などで情報の発信を継続するなど絆を広げるプラットフォームは当然残していかねばなりません。

このような難しい背景が待ったなしで出て来ていますが、これらの背景は東京四極会の新たな姿を描く契機としてポジティブにとらえていきたいと思います。その他実行可能な財政削減策を検討していきますが節減効果の一部は会員増の取り組みなどに使うなど積極財政も併せて必要と考えています。

以上、慎重な検討を経て次回の総会で予算や諸活動の具体的な新運用についてお諮りします。ご意見をよろしくお願いします。

謹んでお悔やみ申し上げます（敬称略）

この訃報欄は、新年会、総会のご案内の返信で把握した情報に基づいて受付順でお知らせしています。

桑山　一雄さん
卒年：第39回・大12
ご逝去日：不明

東　宏三さん
卒年：第41回・大14
ご逝去日：平成30年11月11日

三島　庸一さん
卒年：第35回・大8
ご逝去日：平成30年6月16日

大竹　一郎さん
卒年：第41回・大14
ご逝去日：平成29年1月